

葛藤 (どちらにしようかと思悩む) とともに

沖縄では、梅雨入りが5月21日に発表されました。平年の梅雨入りは5月10日なので、10日以上遅い梅雨入りとなりました。四国でも、もうすぐ梅雨入りの知らせが届くことと思います。

さて、子育てをしていると、いろいろな問題が起き、悩んだり迷ったりすることに出会います。しかし、悩みや迷いがあることが問題ではなく、問題があるのにしっかり悩んだり迷ったりしないことが問題であるように思います。悩みや迷いを持ち続けられることが大切だと言われています。

みんなそれが苦しくて嫌だから、葛藤せずに、すぐどれかに決めてしまいます。『悪いのは私ではない。友だちが悪い』と、決めてしまえば簡単です。

それを決めないで、『友だちが悪いかもしれないし、悪くないかもしれない』とずっと考えていくことは、とてもエネルギーがいらします。友だちが、矛盾したことを言った時に、それをぐっと持ち続けることが大切だと考えると、「おかしいことを言ってる」と言わないで、『それもそうかもしれない』と思えたら、葛藤が生まれます。



家庭は、お父さんが生まれ育った歴史と、お母さんの生まれ育った歴史が、両方流れ込むところです。だから、2人の矛盾する考えをどう調和させるかという課題を、根本的に抱えています。そういう葛藤を体験的に学んでいくことができるのが家庭です。

子育てをしていると、「ダメツ」と言ってとめたらいいいのか、もう少し様子を見ていたほうがいいのか、毎日が葛藤そのものです。自分がしてもらったことを、子どもにその通りにしても、役に立たないと感じることが多いのではないのでしょうか。子どもへの対応を新たに自分で熟考して、子育てをしていく必要に迫られています。今の親御さんがご苦労される場所の一つです。



子どもたちは、正解が一つしかない問題に数多く取り組んでいるので、葛藤が生じることが少ないのかもしれませんが。世の中、一つのことについていろいろな答えがあるから面白いのではないのでしょうか。もめ事が起こった時に片方ずつから事情を聴くと、だいたい両方とももっともなことを言います。

最近では、迷いや悩みを持ち続ける力が育つ機会が少なくなっているように感じます。

いろいろな葛藤を持ちながら、ぐっと耐えてそれを持ち続けることができるようになると、『大人』に近づくことになるように思います。

引用・参考図書 『こころの子育て』河合隼雄著 朝日新聞社

6月来校予定

7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)

10:00~16:00